

きょうう 時の記念日 城山の鐘まつり

延岡市

6/10 8代目鐘守日高さん夫妻の勞ねぎらう

時を告げる鐘として長く市民に親しまれている「城山の鐘」に感謝する同鐘まつりが「時の記念日」(6月10日)のきょう、延岡市の城山公園鐘突き堂前で開かれた。主催は、延岡観光協会。関係者約100人が参加し、141年間役目を果たしてきた鐘の響きに耳を傾け、8代目鐘守の日高康彦さん(54)眞理子さん(49)夫妻の勞をねぎらった。

ろであり、城下町延岡の歴史文化の象徴でもある。次の世代にしっかりと守り継いでいきたい」とあいさつした。

続いて、すがすがしい初夏の風に包まれて、女声合唱団「ふれあいコーラス秋桜」と同「ゴール・ひまわり」の24人が、竹尾

参加者が見守る中、「延一代鐘守」と書かれた法被岡城址(じょうし) 第八一姿の日高さん夫妻が正午

の鐘を力強く突いた。同協会の谷平興二代表理事は「一日も休むことなく鐘を突き、時を告げてくださっている日高さん夫妻に深く感謝している」とあいさつ。来賓の読谷山洋司市長は、自身の子供時代の思い出と重ねつつ「市民の心のよりどころ



城山の鐘まつりで正午の鐘を突く8代目鐘守の日高眞理子さん(左)と、康彦さん(右)きょう、延岡市の城山公園鐘突き堂



「時計の歌」を元気いっぱい唱歌うわか葉幼稚園、かわなか保育園の年長児

浩子さんの指揮で「なつかしき城山の鐘」などをさわやかに合唱。わか葉幼稚園、かわなか保育園の年長児37人は元気いっばいに「時計の歌」を歌い、日高さん夫妻に「これからも体に気を付けて頑張ってください」と言葉

を贈った。「城山の鐘」は1878(明治11)年から時を告げ、現在は1日6回(午前6時、同8時、同10時、正午、午後3時、同5時)突

かれています。

同鐘まつりは1941(昭和16)年から始まり今回で79回目。日高さん夫妻は2017(平成29)年10月に8代目鐘守に就任している。

「未指定」解消し活性化を

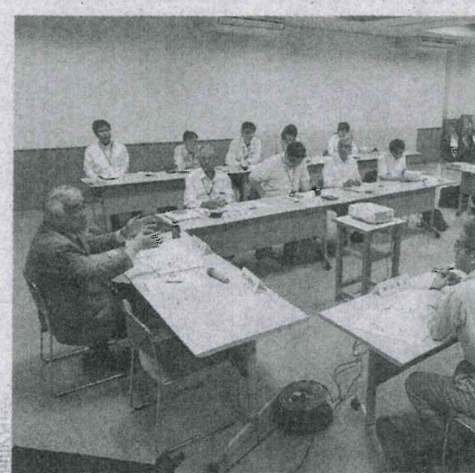
10 みやざき神楽魅力発信委員会

令和元年度第1回みやざきの神楽魅力発信委員会（議長・小川直之、國學院大教授）は、このほど、宮崎市の県総合博物館であった。県内各地の委員から活発な意見が続き、国や県、自治体から未指定の保存会・団体を指定すること、活性化を図ることなどを話し合った。

記紀編さん1300年記念事業として2013年度から、講演会や県外公演、ユネスコ無形文化遺産の登録を目指した調査研究などを実施してきた。

委員は県内外の学者や、地域の保存会、調査員など11人。委員会によると、国指定の神楽が高千穂町や椎葉村など58団体、県指定が27団体、市町村指定が25団体で97の未指定団体がある。

小川議長によると同委員会では指定することができないが、指定に当たっては、特色ある神楽で、しっかりとした保存会などの伝承組織があることになるという。



を出して「活性化」と話していた。

会（宮崎市）